

第6 重点施策の分析

第2 重点施策の分析

ここでは、特に「第5 重要度・満足度調査結果」で、市全体の重点施策と位置付けられた9つの施策について、地域別をはじめとした重要度・満足度の特徴的な属性の分析及び意識調査の結果を含む施策指標の分析を行い、データが利用可能かつ他市との比較が可能な施策について財務分析を実施しました。なお、比較対象とした自治体は、大阪府内の豊中市、吹田市、高槻市、茨木市、八尾市、寝屋川市としました。

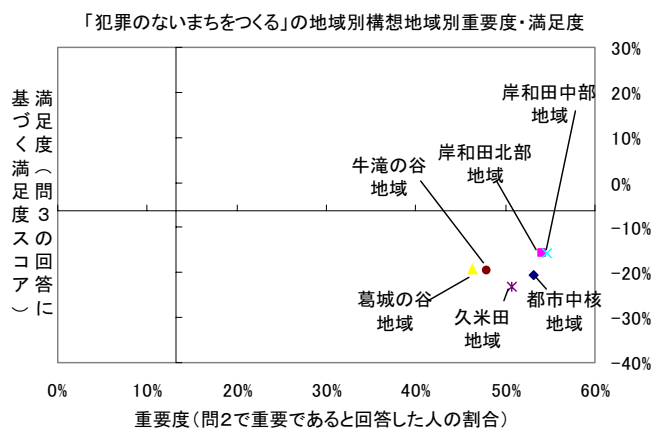
1 【重点施策1】犯罪のないまちをつくる

| | |
|-----------------------------|----------|
| 地域の治安がだんだん悪化していると感じている市民の割合 | 58.2 (%) |
|-----------------------------|----------|

(1) 重要度・満足度の属性分析

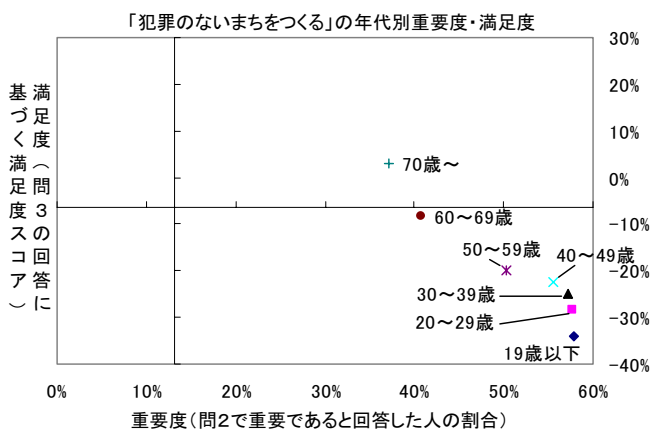
① 地域別

地域別に見ると、全体的に重要度が高く、満足度が低い傾向が分かります。比較的重要度が高く満足度が低い地域は、都市中核地域および久米田地域となっています。



② 年齢別

年代別に見ると、若い人ほど重要度が高く満足度が低くなっています。



(2) 指標分析

刑法犯罪の認知件数は、下の表が示すように、平成14年度からの3年間で、5,611件、5,008件、4,589件と減少しています。この水準を他団体と比較してみると、人口1,000人当たり刑法犯罪認知件数は平成15年度では、24.8人となっており、吹田市、高槻市、寝屋川市よりは高いものの、大阪府全体でみると平均より低くなっていることが分かります。

岸和田市と各市の犯罪の刑法犯罪の認知件数

| | 岸和田市 | | | 豊中市 | 吹田市 | 高槻市 | 茨木市 | 八尾市 | 寝屋川市 | 大阪府 |
|-------------------------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| | H14 | H15 | H16 | H15 | | | | | | |
| 刑法犯罪の認知件数 | 5,611 | 5,008 | 4,589 | 10,489 | 7,957 | 7,116 | 6,051 | 7,329 | 5,696 | 285,307 |
| 刑法犯罪の認知件数 (1000人あたり) | 27.8 | 24.8 | 22.7 | 27.0 | 22.5 | 20.1 | 22.7 | 26.8 | 23.3 | 32.3 |

出所：岸和田警察署、大阪府警察本部刑事部刑事総務課（平成15年）

2 【重点施策2】安心して子どもを産み育てられるまちをつくる

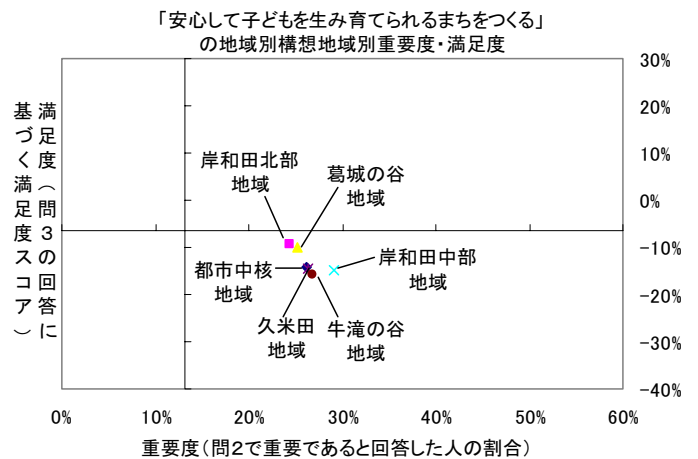
安心して子どもを産み育てられることができると感じている市民の割合

18.0 (%)

(1) 重要度・満足度の属性分析

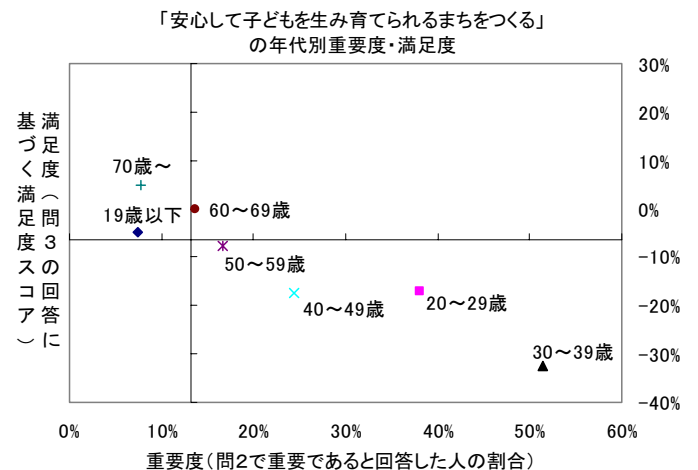
① 地域別

地域別に見ると地域間での大きな違いはなく、全体的に重要度が高く満足度が低くなっていることが分かります。



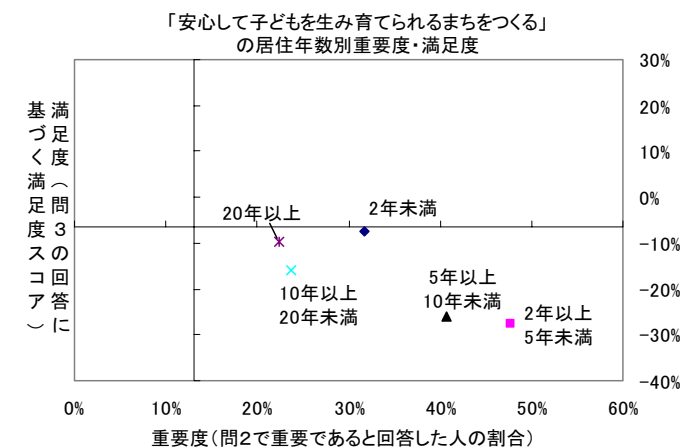
② 年齢別

年代別に見ると、30歳代で突出して重要度が高く、満足度が低くなり、続いて、20歳代、40歳代でも重要度が高く満足度が低くなっています。



③ 居住年数別

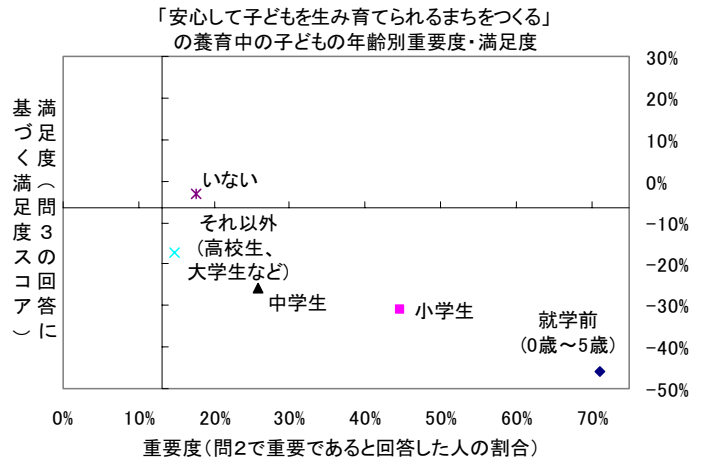
居住年数別に見ると、特に「2年以上5年未満」と「5年以上10年未満」の重要度が高く、満足度が低くなっています。



【重点施策2】安心して子どもを生き育てられるまちをつくる

④ 子どもの年齢別

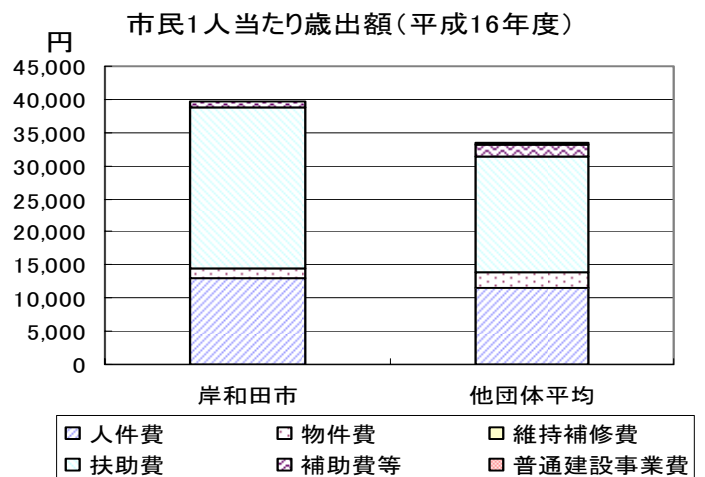
養育中の子どもの年齢別に見ると、その子どもが幼いほど重要度が高く、満足度が低くなっています。



(2) 財務分析

平成16年度の児童福祉費について他の団体と比較をすると、市民1人当たり児童福祉費は他団体よりも多く、特に手当関係の扶助費が多くなっています。

児童手当実対象者数は、平成14年度からの3年間で、9,070人、9,312人、11,826人と年々増加していることから、今後も増加することが考えられます。



3 【重点施策3】子どもにとって学校が楽しいまちをつくる

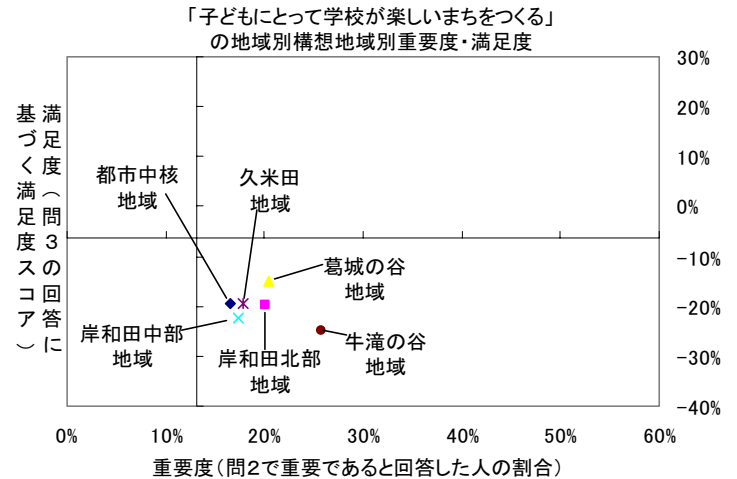
子どもを小・中学校に安心して送り出すことができていると感じている市民の割合

19.9 (%)

(1) 重要度・満足度の属性分析

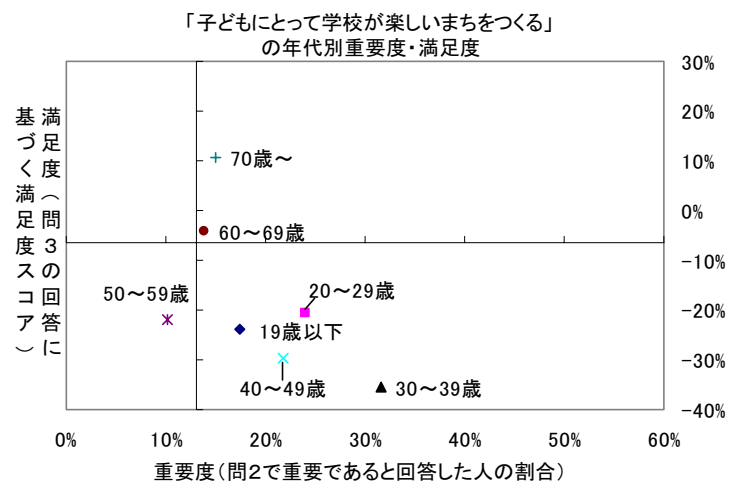
① 地域別

地域別では、牛滝の谷地域では、この施策に対して重要度が高く、満足度が低い結果となっています。



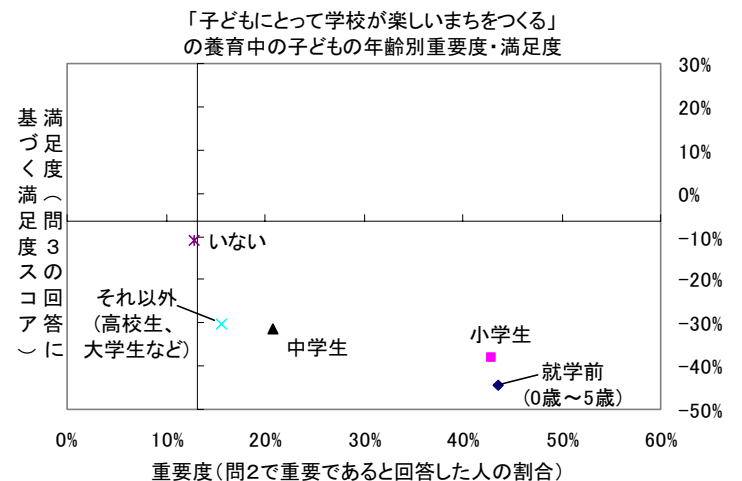
② 親の年齢別

親の年代別に見ると、特に10歳代から40歳代で、重要度が高く、満足度が低くなっています。



③ 子どもの年齢別

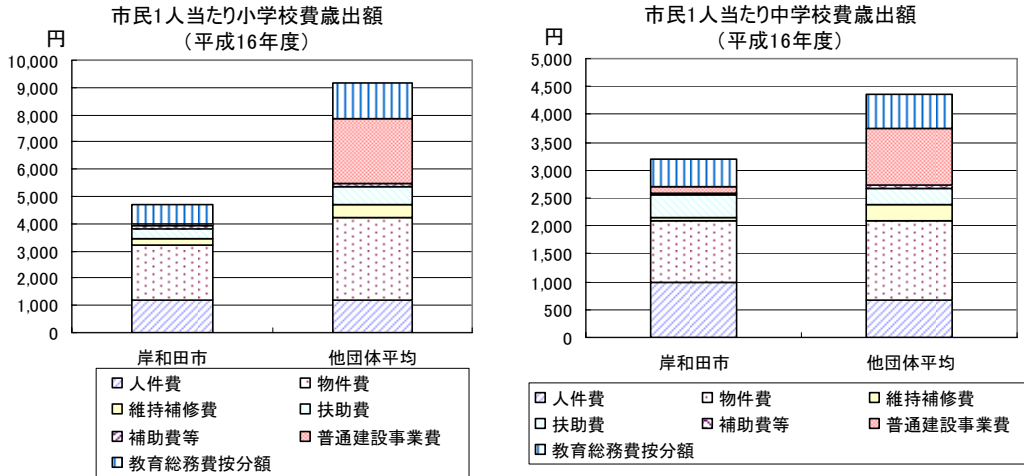
養育中の子どもの年齢別に見ると、特に就学前と小学生の子どもを養育中の回答者の重要度が高く、満足度が低くなっており、直接の受益者や将来の受益者にとって、より満足度が低くなっています。



(2) 財務分析

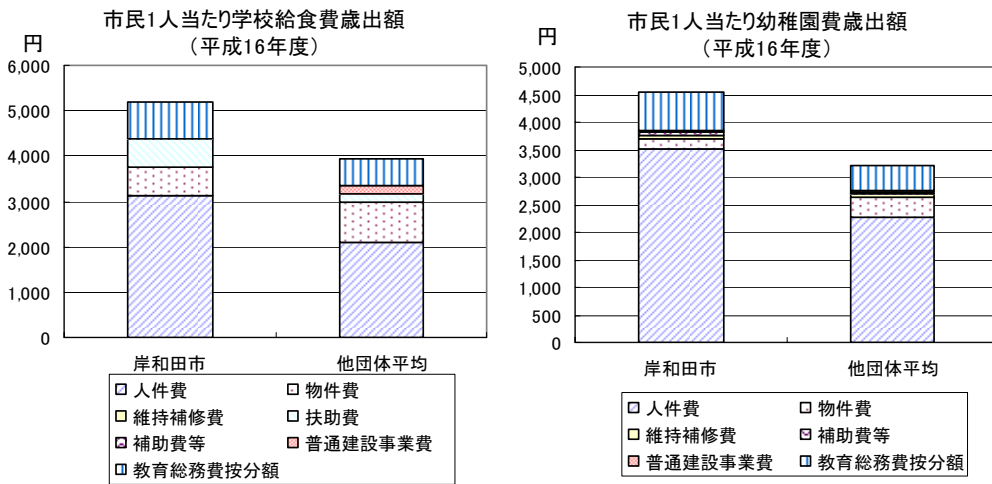
① 小学校費と中学校費

他団体と小学校費と中学校費の比較をすると、市民1人当たり小学校費、同中学校費は他団体よりも少なくなっています。



② 学校給食費と幼稚園費

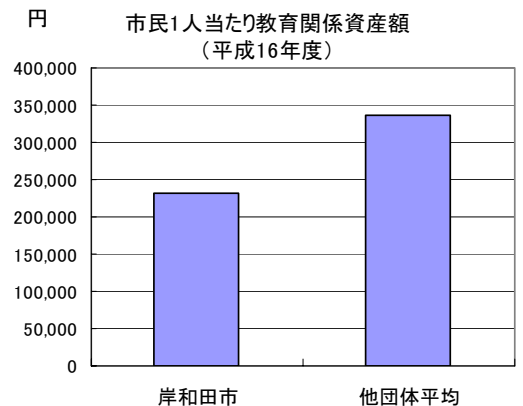
学校給食費と幼稚園費を比較すると、小中学校費とは逆に、他団体よりも市民1人当たり歳出額が多くなっています。



③ 資産額

教育費全体での市民1人当たり資産額は、他市より低くなっています。

(注) バランスシートに計上されている教育費資産額(岸和田市は46,978,355千円)を人口で除して算出しています。



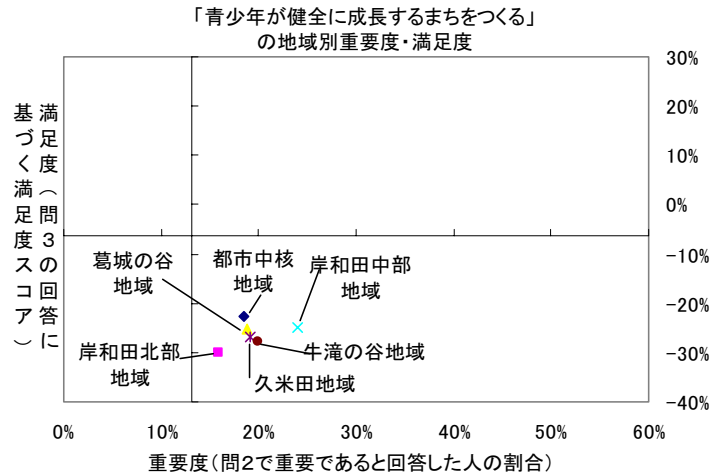
4 【重点施策4】青少年が健全に成長するまちをつくる

意識調査による指標計測未実施

(1) 重要度・満足度の属性分析

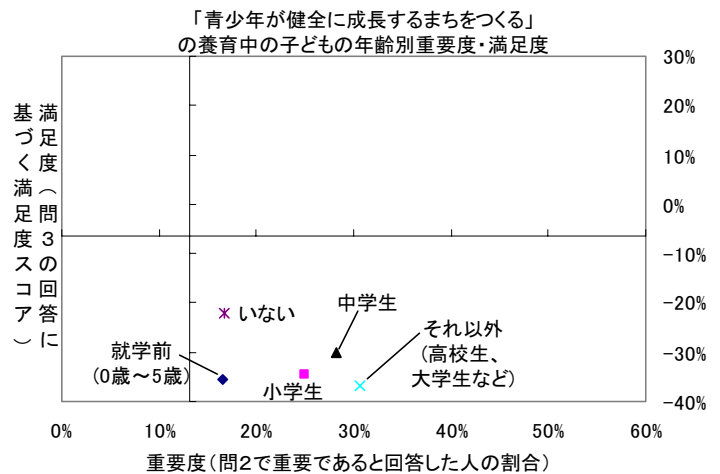
① 地域別

地域別に分析すると、全地域を通じて重要度が高く満足度が低い結果となっています。岸和田中部地域ではやや、他の地域と比べて重要度が高くなっていることが分かります。



② 子どもの年齢別

養育中の子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が高くなるほど重要度が高くなっています。



(2) 指標分析

少年犯罪（刑法犯）検挙人員は、平成14年度からの3年間で302人、429人、347人となっています。これを人口1,000人当たりで大阪府全体と比較すると、少年犯罪の検挙人員数は、府内でも高い状況にあるといえます。

岸和田市と大阪府全体の少年犯罪の検挙人員

| 施策指標（案） | 岸和田市 | | | 大阪府 |
|----------------------------|------|------|------|--------|
| | H14 | H15 | H16 | H16 |
| 少年犯罪（刑法犯）検挙人員 | 302 | 429 | 347 | 11,451 |
| 少年犯罪（刑法犯）検挙人員（人口1,000人当たり） | 1.49 | 2.12 | 1.72 | 1.30 |

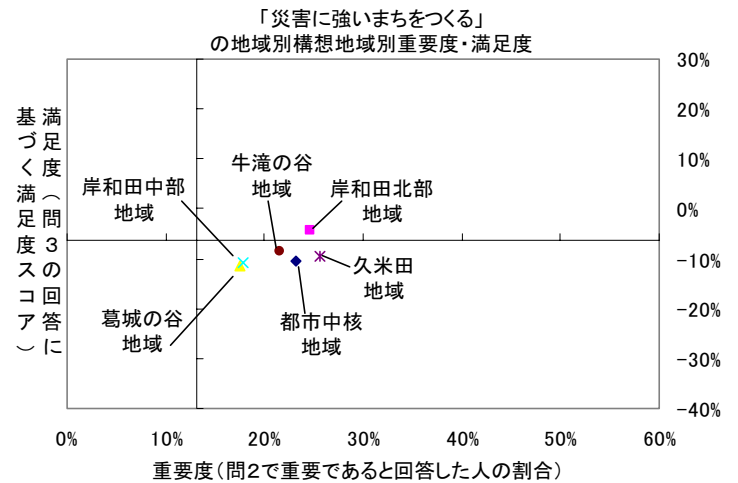
5 【重点施策5】災害に強いまちをつくる

| | |
|---------------------------|-----------------|
| 災害の際の緊急避難場所がどこか知っている市民の割合 | 67.6 (%) |
|---------------------------|-----------------|

(1) 重要度・満足度の属性分析

① 地域別

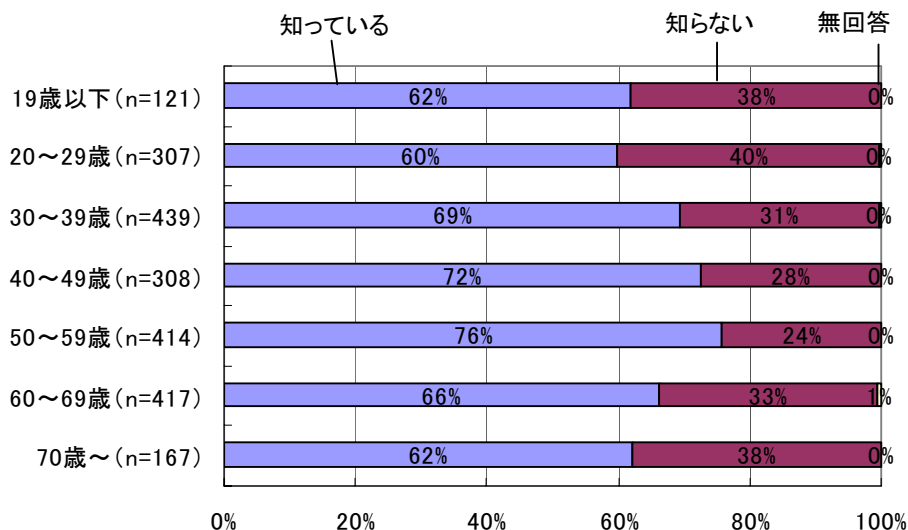
結果を地域別に分析すると、岸和田北部地域で満足度がやや高くなっています。また岸和田中部地域、葛城の谷地域では重要度がやや低くなっています。ただ、全体的には重要度が高く満足度がやや低い状況であると考えられます。



(2) 指標分析

意識調査の問6「災害の際の避難場所がどこか知っていますか？」の回答結果によると、災害の際の避難場所を「知っている」と回答した割合は50歳代が76%と最も高く、続いて40歳代が72%、30歳代が69%となっています。

一方で、20歳代、19歳以下、70歳以上は「知らない」の回答率が高くなっています。



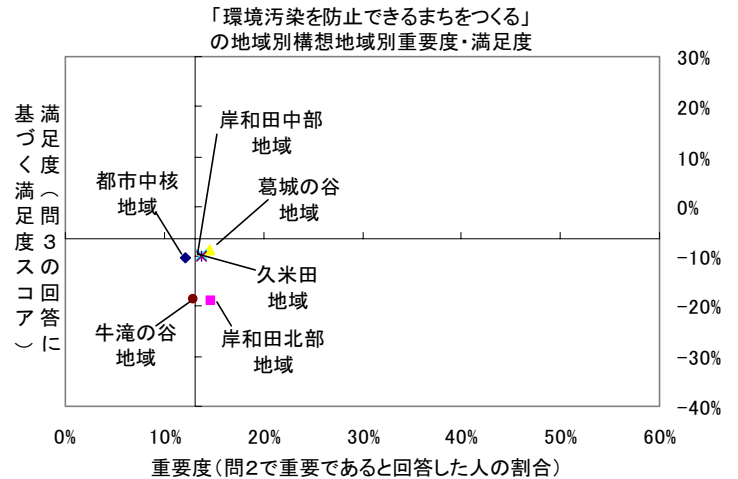
6 【重点施策6】環境汚染を防止できるまちをつくる

| | |
|---------------------------|-----------------|
| 騒音や大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合 | 21.0 (%) |
|---------------------------|-----------------|

(1) 重要度・満足度の属性分析

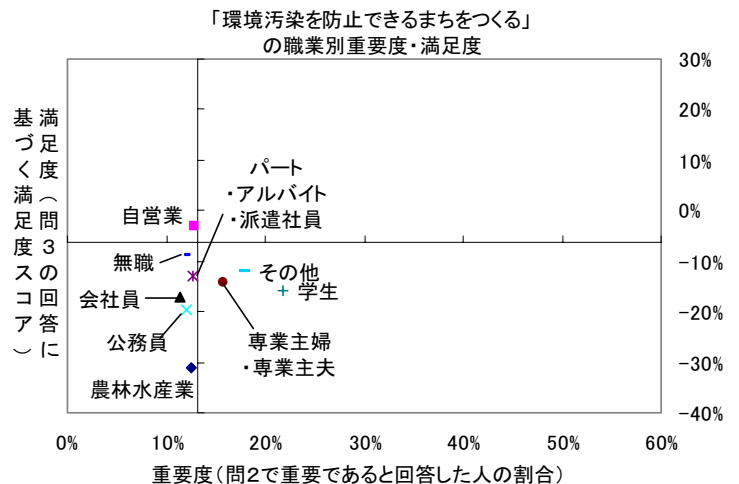
① 地域別

地域別に見ると牛滝の谷地域、岸和田北部地域の回答者で満足度が低い結果となっています。



② 職業別

職業別にみると、特に農林水産業従事者の満足度が低くなっています。



(2) 指標分析

平成14年度からの3年間の公害苦情件数は147件、223件、199件となっています。平成14年度の大阪府内全体における人口1,000人当たりの公害苦情件数が0.57人に対し、岸和田市は0.73人と若干多くなっています。

| 施策指標 (案) | 岸和田市 | | | 大阪府 |
|----------------------|------|------|------|-------|
| | H14 | H15 | H16 | H14 |
| 公害苦情件数 (新規受付分) | 147 | 223 | 199 | 5,075 |
| 公害苦情件数 (人口1,000人当たり) | 0.73 | 1.10 | 0.98 | 0.57 |

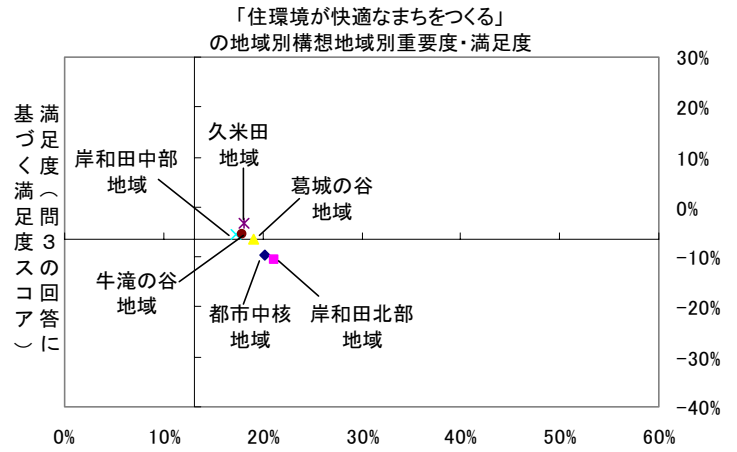
7 【重点施策7】住環境が快適なまちをつくる

快適な住環境で生活できていると感じている市民の割合 **38.3 (%)**

(1) 重要度・満足度の属性分析

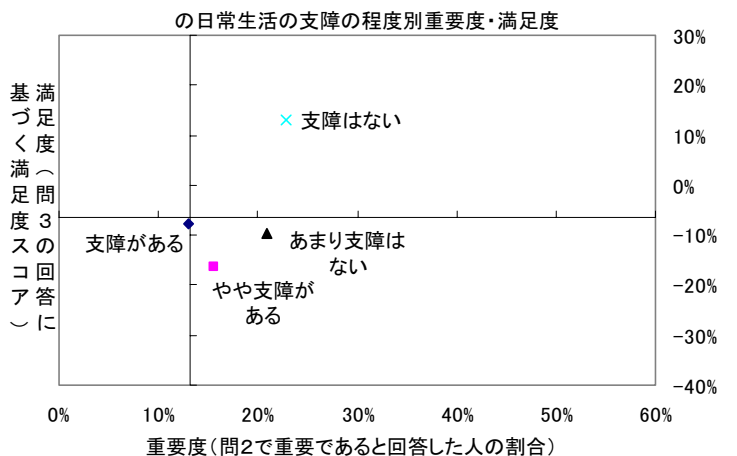
① 地域別

地域別に当施策の重要度、満足度を分析すると、全域的に同じような傾向が見られ、重要度がやや高く満足度がやや低い結果となった。



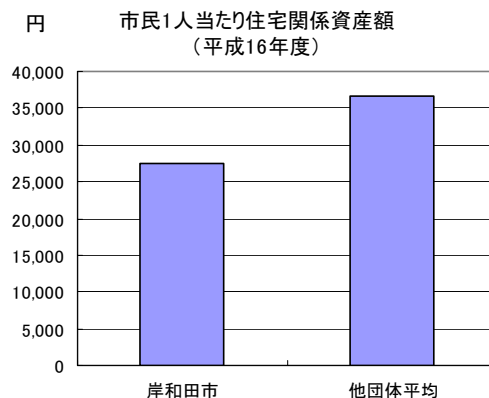
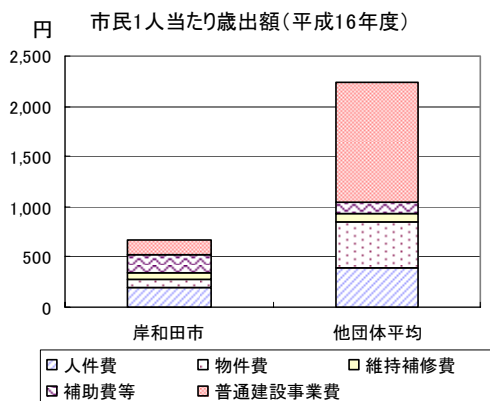
② 病気や障害

長期的な病気や障害を抱えていても、生活に支障がないと答えた回答者は長期的な病気や障害を抱えている人の中では満足度が平均より高くなっています。



(2) 財政分析

住宅費について他団体と比較したところ、住宅関係の歳出額は他団体よりも市民1人当たり1.5千円も低く、また住宅関係資産額も27.5千円と比較団体よりも少なくなっています。その関係で、平成16年度の歳出額は普通建設事業費が極端に少なくなっており、また資産が少ないことから物件費や維持補修費も他団体よりも少ない歳出となっています。



(注) バランスシートに計上されている住宅関係資産額(岸和田市は5,558,544千円)を人口で除して算出しています。

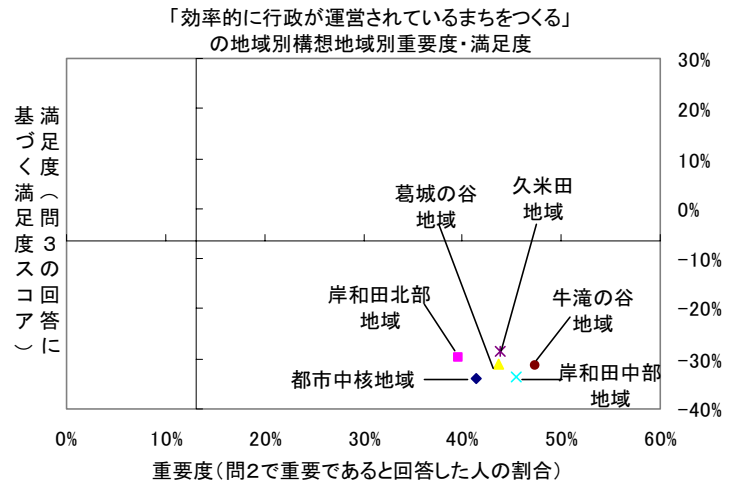
8 【重点施策8】 効率的に行財政が運営されているまちをつくる

| | |
|-------------------------|----------|
| 全体として市役所の仕事に満足している市民の割合 | 13.1 (%) |
|-------------------------|----------|

(1) 重要度・満足度の属性分析

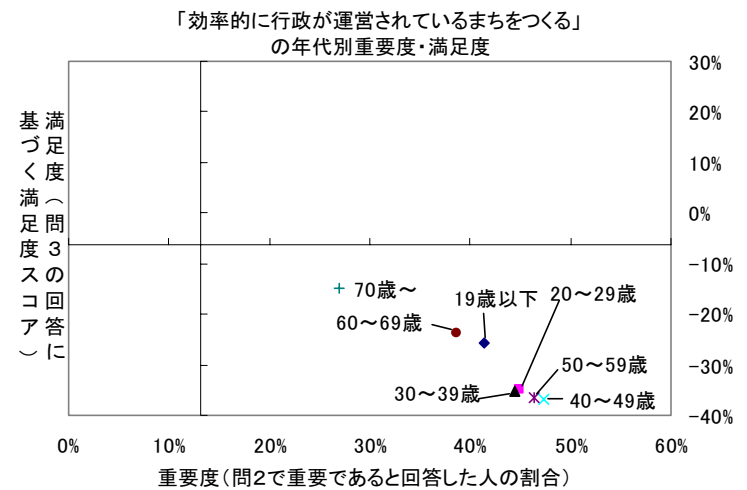
① 地域別

地域による大きな隔たりはなく、全域的に重要度が高く満足度が低い結果となった。



② 年齢別

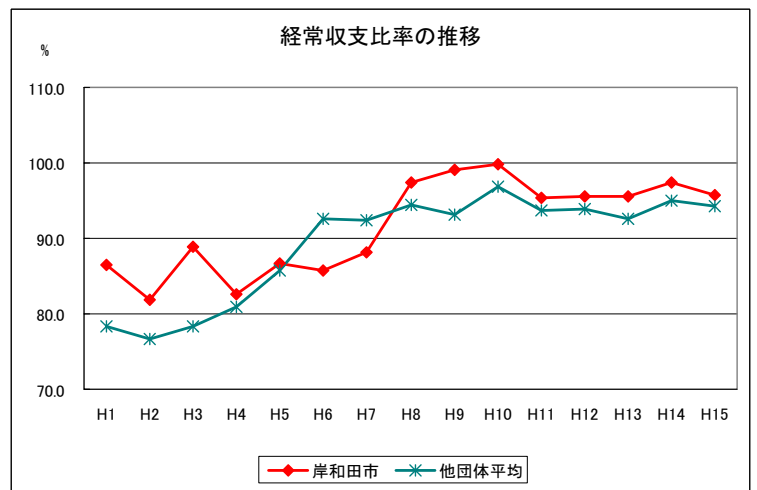
年代別に見ると、20歳代から50歳代でとくに満足度が低くなっています。



(2) 財政分析

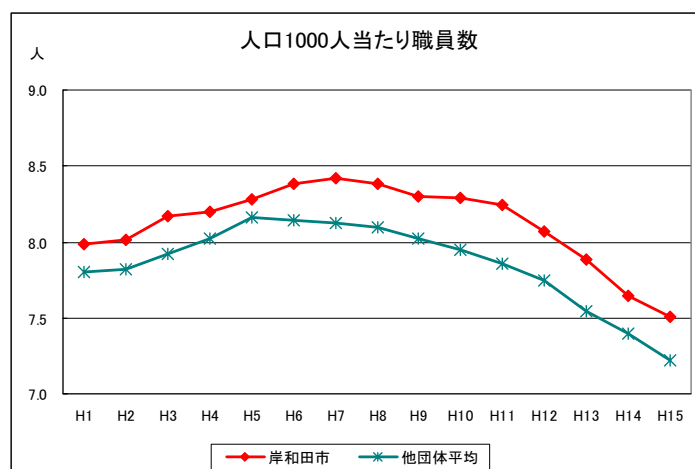
① 経常収支比率

以下は経常収支比率の分析です。平成8年度から他団体の平均値より悪化しています。



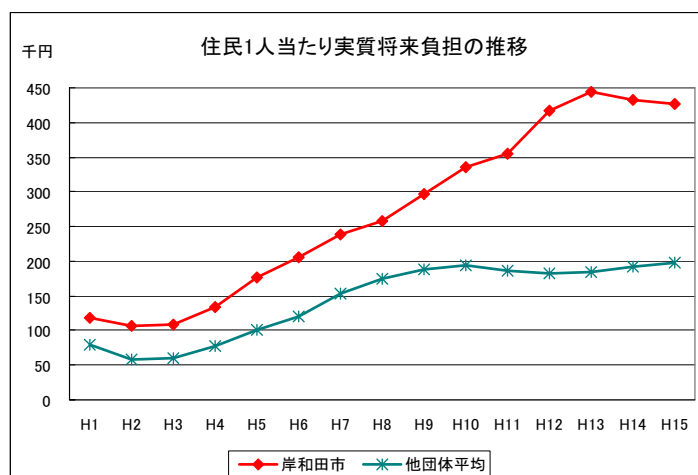
② 職員数

次に人口1,000人当たり職員数を他団体比較してみると、岸和田市の職員数は、平成元年度から平成15年度まで0.2から0.3人の幅で多くなっています。



③ 実質将来負担

また、住民1人当たり実質将来負担（地方債の残高から、その支払い準備として考えられる積立金と歳計現金を差し引いたものであり、将来の住民の借金と考えることができます。）の推移をみると、平成元年度から他団体よりも多く推移しており、特に平成8年度を境として、負担額の乖離が大きくなっています。



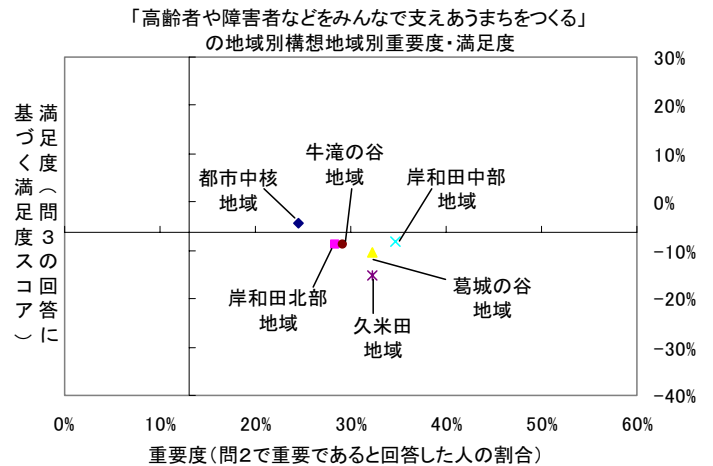
9 【重点施策9】高齢者や障害者などをみんなで支えあうまちをつくる

| | |
|--|----------|
| 高齢者や障害者になったときにも安心して生活 することができると感じている市民の割合 | 14.5 (%) |
|--|----------|

(1) 重要度・満足度の属性分析

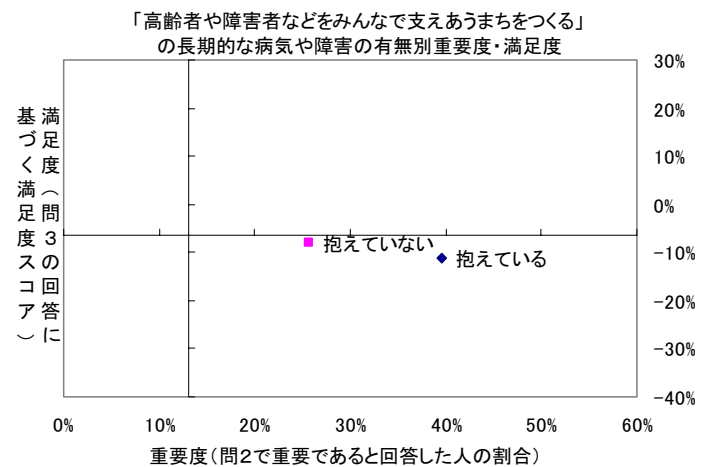
① 地域別

地域別では久米田地域のこの施策に対する満足度が相対的にやや低くなっています。

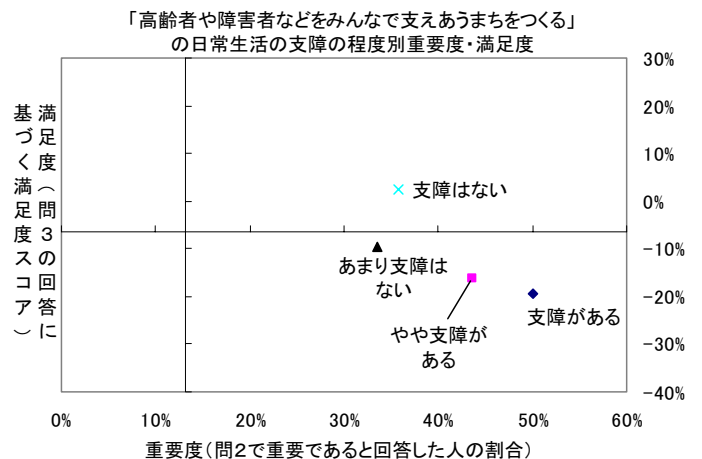


② 病気や障害

長期的な病気や障害の有無別で見ると、長期的な病気や障害を抱えていると回答した人の重要度が高くなっています。



また、長期的な病気や障害を抱えていて、生活に支障があるとした回答者ほど満足度が低くなっています。



(2) 指標分析

介護保険の要介護認定者数をみると、岸和田市の要介護認定の割合は、大阪府全体及び、比較団体と比べても高くなっており、高齢者の健康状態は改善を要する点が多いと考えられます。

また、身体障害者手帳交付数は平成14年度からの3年間で、7,347人、7,619人、7,791人と増加しています。

大阪府及び各市の要介護認定者数と1号被保険者に占める要介護認定者の割合（平成16年度）

| | 岸和田市 | 豊中市 | 吹田市 | 高槻市 | 茨木市 | 八尾市 | 寝屋川市 | 大阪府 |
|--------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 要介護認定者数(人) | 6,906 | 11,539 | 9,727 | 9,631 | 6,375 | 9,212 | 5,955 | 292,135 |
| 1号被保険者のうち要介護認定者の割合 | 19.5% | 16.6% | 17.4% | 15.1% | 16.1% | 18.6% | 14.6% | 18.5% |

(3) 財政分析

老人福祉費と社会福祉費についての他団体との歳出比較をみると、老人福祉費については、他団体とそれほどかわらない歳出額になっていますが、社会福祉費については、人件費と扶助費が他団体よりも少なくなっています。

